



せい しん つう しん  
**聖 心 通 信**

**札幌聖心女子学院**

校長 阿部益太郎

第 10 号 2019 年 1 2 月 2 4 日

〒064-8540 札幌市中央区宮の森 2 条 16 丁目 10 番 1 号  
 URL <http://www.spr-sacred-heart.ed.jp>

TEL 011-611-9231 / 011-676-7667(職員室直通)  
 FAX 011-612-0980

先日のクリスマスコンサートには大変多くの方にご来場いただき、ありがとうございました。また、バザー・喫茶等でお支えくださった皆様にも心より感謝いたします。

冬の寒さが一段と厳しくなってきました。体調に気をつけていただき、よいクリスマスと新年をお迎えください。



## Congratulations!!

- ◎ 日能研 第 15 回文学コンクール  
 論説文部門 優秀賞 高 3-G 森井 花音さん
- ◎ 第 58 回全国高等学校生徒英作文コンテスト  
 入選 高 1-S 加世田 紗衣さん  
 田嶋 来未さん 廣瀬 端乃さん
- ◎ 令和元年度札幌市中央区明るい選挙啓発  
 作品展 (書写作品)  
 札幌市中央区明るい選挙推進協会会長賞  
 中 2-S 杉本 磨子さん  
 札幌市中央区選挙管理委員会委員長賞  
 中 2-S 西 恵里奈さん  
 金賞 中 2-S 寒河江 三宣さん  
 佳作 中 3-S 吉田 桜さん

## インターナショナルデイ

12 月 5 日(木)に AFS の留学生を本校に招き、各クラスで授業や昼食時に交流をしました。

7 時間目には全校生徒で交流会を行い、一緒にゲームをして遊び、実り多く楽しい時間を過ごすことができました。



## 1 月の行事予定

	行 事	お弁当
学校閉鎖(12/29~1/3)		
4(土)	ナント姉妹校短期交換留学(~1/26)	
5(日)		
6(月)	中学本校入試下見	
7(火)	中学本校入試 プリンストン姉妹校短期交換留学(~1/27)	
8(水)		
9(木)		
10(金)		
11(土)	中学首都圏入試 中学本校入試合格者対象個別相談会①	
12(日)		
13(月)	成人の日	
14(火)		
15(水)	中 2-G 聖心インターナショナルスクール国内留学(~1/24)	
16(木)		
17(金)		
18(土)	中学本校入試合格者対象個別②相談会 中学首都圏合格者対象説明会(聖心女子大学)	
19(日)		
20(月)	センター試験自己採点	
21(火)	帰舎日	
22(水)	始業	要
23(木)	高 1・高 2 進研模試	※
24(金)	中 3 卒業研究発表会 中 3-G NZ 研修保護者説明会 母の会パン販売(16:10~)	要
25(土)	高校推薦入試 中 2G 家庭学習日 英検③	※
26(日)		
27(月)		要
28(火)	中 1~高 2 スキー学習 高 3 授業最終日	※
29(水)	梅干し弁当 課題研究⑨	梅干し弁当
30(木)	地理コンテスト(1校時) 中学基礎学力テスト(2~4校時)	要
31(金)	高 3 卒業研究発表会(~2/1) 中 2 三者面談(~2/6) 漢字検定②(放課後)	要

※ 必要な方は昼食をご用意ください。

## クリスマス・プラクティス

12 月 9 日~19 日までの 10 日間、クリスマス・プラクティスを実施しました。クリスマス・プラクティスとはイエス・キリストのご降誕をお祝いするために私たちの心の準備をすることで、朝礼前や休み時間などに、一人ひとりが沈黙を心がけました。その成果として通学生はお米を、寄宿生はカイロをお捧げしました。集まったお米とカイロは、有効に活用していただけるよう、12 月 25 日(水)に「うえるかむはうす」(北 1 東 6)にお届けし、クリスマスボランティアを行います。

## 人間関係ミーティング～人間活動史からみたアイヌ文化～

2月4日(水)の人間関係ミーティングは、北海道博物館 研究部長の右代啓視さんから「人間活動史からみたアイヌ文化」についてのお話をうかがいました。本校では2004年からアイヌ文化学習に取り組み、中学2年の宿泊研修などで体験を通して学びを深めてきました。今回は右代先生から、北海道博物館の貴重な資料をスライドで紹介いただきながら、アイヌの歴史と文化を学びました。そして今なおアイヌの人々への差別や遺骨の問題などが存在していることを改めて考えさせられました。共に生きる社会づくりについて考えるよい機会となりました。



### 今月の聖句

すると、ある律法の専門家が立ち上がり、イエスを試そうとして言った。「先生、何をしたら、永遠の命を受け継ぐことができるでしょうか。」イエスが、「律法には何と書いてあるか。あなたはそれをどう読んでいるか」と言われると、彼は答えた。「『心を尽くし、精神を尽くし、力を尽くし、思いを尽くして、あなたの神である主を愛しなさい、また、隣人を自分のように愛しなさい』とあります。」イエスは言われた。「正しい答えだ。それを実行しなさい。そうすれば命が得られる。」しかし、彼は自分を正当化しようとして、「では、わたしの隣人とはだれですか」と言った。イエスはお答えになった。「ある人がエルサレムからエリコへ下って行く途中、追いはぎに襲われた。追いはぎはその人の服をはぎ取り、殴りつけ、半殺しにしたまま立ち去った。ある祭司がたまたまその道を下って来たが、その人を見ると、道の向こう側を歩いて行った。同じように、レビ人もその場所にやって来たが、その人を見ると、道の向こう側を歩いて行った。ところが、旅をしていたあるサマリア人は、そばに来ると、その人を見て憐れに思い、近寄って傷に油とぶどう酒を注ぎ、包帯をして、自分のろばに乗せ、宿屋に連れて行って介抱した。そして、翌日になると、デナリオン銀貨二枚を取り出し、宿屋の主人に渡して言った。『この人を介抱してください。費用がもっとかかったら、帰りがけに払います。』」

さて、あなたはこの三人の中で、だれが追いはぎに襲われた人の隣人になったと思うか。」律法の専門家は言った。「その人を助けた人です」

そこで、イエスは言われた。「行って、あなたも同じようにしなさい。」 ルカ福音書 10章 25節～37節

ある大学で、いじめについて話をしているなかで、いじめをひどくする要因の最たるものはいじめを見て見ぬふりをする事で、加害者を肯定している傍観者と観衆の存在だと話したら、後で学生の中から傍観者はまっとうな生き方だとの反応が返ってきました。加害者－被害者の関係には関わらない。祭司やレビ人のようにあぶないことに関わらないことは処世術として当然だというのです。このような考え方は実は日本人のこころの底流にあるのかもしれないと思います。

子供たちの世界だけではなく、大人の世界にも傍観者の生き方を認めるものがあり、セクハラやパワハラなどの被害を受けた人に対する無関心、見て見ぬふりをする行動が被害者を追い詰めている現状があるのではないか。このような現状を変えるためにはどうするべきなのか。答えはあります。被害者の隣人になること。イエスのいうように、自分のこととして、「行ってあなたも同じように」することです。イエスに私たちの生き方が問われています。

[真島 勝彦 宗教科 カトリック教会カテキスタ (伝道師)]

### 「パプリカ」ダンス

中3生徒の有志メンバーが参加したNHK2020応援ソング「パプリカ」ダンスが以下の予定で放送されます。是非ご覧ください。

1月5日(日)・12日(日)・19日(日) 7:55～Eテレ、1月8日(水)・15日(水) 15:55～NHK 総合テレビ